



2019年9月18日

各 位

会 社 名 株式会社ジーンテクノサイエンス
代表者名 代表取締役社長 谷 匡 治
(コード番号：4584 東証マザーズ)
問 合 せ 先 執 行 役 員 栄 靖 雄
経 営 管 理 本 部 長
(TEL. 03-6222-9547)

岐阜薬科大学との歯髄幹細胞を活用した眼関連疾患の治療法創出に向けた 共同研究契約締結のお知らせ

この度、当社は、岐阜薬科大学と眼関連の一部疾患に対する新たな治療方法創出に向けて、共同研究契約（以下、「本契約」といいます。）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本契約締結の目的及び理由

当社は、2018年度より新たな事業ステージを指すGTS3.0「バイオで価値を創造するエンジニアリングカンパニー」を目標に掲げ、これまでの事業活動で得てきたバイオ技術に関するノウハウ及び知見を最大限活用し、従来より手掛けてきた希少疾患、難病に加えて、小児疾患を重点的なターゲットと定め、これらの疾患に悩む患者様、そのご家族や介護者の方を含めた包括的なケアを目指して、新薬のみならず新たな医療の開発・提供に取り組んでおります。本契約は、当社の再生医療事業の基盤となる歯髄幹細胞を活用して当該疾患の新たな治療法の創出を目指すものであります。

眼関連の疾患では、早期に適切な手術・治療を行わないと、最悪の場合、失明につながり、QOLの著しい悪化を招きます。また、一部の疾患においては、既存の手術・治療法で、必ずしも満足な効果が得られない患者様もおられます。優れた組織再生能力を有する歯髄幹細胞を活用した細胞治療は、このような患者様に対する手術・治療効果を増強することで、失明のリスクを低減し、QOLの低化を防げる可能性があります。

岐阜薬科大学薬効解析学研究室では、眼関連疾患の機序解明や治療薬開発を目指した基礎研究を精力的に行っており、これまで数多くの画期的な研究報告を行ってきました。この度、当社が所有する歯髄幹細胞を活用した新たな治療法創出の可能性について、当社と意見が一致したことにより、共同研究を実施することで合意いたしました。

2. 本契約の内容

当社の完全子会社である株式会社セルテクノロジーにて調製したヒト歯髄幹細胞を用いて、当社、および岐阜薬科大学薬効解析学研究室にて、眼関連の一部疾患に対し、新たな治療法創出に向けた基礎研究を共同で行います。

3. 本契約の相手先の概要

(1) 名称	岐阜薬科大学
(2) 所在地	岐阜県岐阜市大学西1丁目25番4号
(3) 学長	稲垣 隆司
(4) 対象研究室	岐阜薬科大学薬効解析学研究室

4. 今後の見通し

本件に伴う2020年3月期の業績への影響は軽微の見通しです。

以上